林業の未来をつくる「ひとづくり」

どれだけ森林資源が豊かであっても、その森林を守り、活用する人がいなければ、持続可能な林業は実現できません。

日南町が森林づくりとともに力を注いでいるのが、林業を担う「ひとづくり」です。

「にちなん中国山地林業アカデミー」は、林業の専門的な知識や技術を学び、地域の林業を担う人材を育成する全国唯一の町立林業学校です。町内外の林業事業体や関係機関と連携した実習、インターンシップなど、現場での経験を積む機会も充実しています。

定員は年間12人。全国から林業を志す人たちが集まり、学び、技術を身につけ、林業の現場へと羽ばたいています。

森林を育てるには長い年月が必要です。同じように、人を育てることにも時間がかかります。だからこそ、今、人を育てることが、未来の森林を守ることにつながります。



第14回プラチナ大賞にて優秀賞受賞！

こうした中、日南町森林組合、日南町、株式会社大林組が共同で応募した「第14回プラチナ大賞」（一般社団法人プラチナ構想ネットワーク（東京都））において、「森林資源の循環利用によるグリーン成長の実現」が優秀賞を受賞しました。

プラチナ大賞とは、地域の課題を革新的なアイデアや産業の創出などによって解決し、持続可能で豊かな社会の実現を目指す自治体や企業などの取組を表彰する取組です。

今回の受賞は、森林資源を活用した産業づくり、木材の高付加価値化、再造林による森林の再生、そして林業人材の育成など、行政と民間、地域が一体となって進めてきたこれまでの取組が評価されたものです。

また、このたびの受賞を契機として、日南町が「プラチナ社会」実現に向けた明確なビジョンや具体的なアクションによる取組を始めている自治体であるとした「プラチナシティ」にも認定されました。

森林は、木材を生み出すだけの場所ではありません。雇用を生み、産業を育て、環境を守り、次の世代に可能性をつなぐ地域の財産です。

こうした日南町の挑戦は、人口減少や担い手不足といった課題に向き合う全国の中山間地域にとっても、一つのモデルとなっています。



森を育てることは、地域の未来を育てること。

日南町の林業は、今、新たなステージを迎えています。

日南町の豊かな森林を、次の世代にも誇れる地域の財産として残していきましょう。